


ふりがな 氏名	ないとう けいすけ <b>内藤 圭祐</b>	都道府県	<b>愛知県</b>	
所属/肩書	<b>名古屋国際中学校・高等学校 教諭</b>			
私のESD活動	『SOCIAL ACTION!』で持続可能な開発を担う人材育成プロジェクトの企画・運営			
ESD活動を表すキーワード	<b>国際理解教育</b>	<b>貧困問題</b>	<b>フェアトレード学習</b>	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

1. **国際交流活動**・・・国際交流担当として、海外校からの訪問を多く受け入れています。多文化交流を意識し、調理実習（和食やハラルフード）、校外活動（本校生徒との名古屋市内フィールドワーク）等を行っています。

受入実績：2014年度 96名、2013年度 81名、2012年度 70名

2. **国際ボランティア研修の運営とフェアトレード学習活動**・・・2011年度より高校2年次にフィリピン国際ボランティア研修を実施しています。認定NPO法人アイキャンと研修内容を組み、私は2011年・2012年に引率しました。事後学習として現地のフェアトレード（FT）商品を文化祭で販売する学習を行っています（2013年度 JICA グローバル教育コンクール・グローバル教育取組部門佳作受賞）。昨年度は FT バナナを輸入し、クレープ製造・販売を通じ「食べる国際貢献」を行いました。（2014年度同コンクール佳作受賞）。成果報告として、ESD あいち・なごや子ども会議とユネスコスクール全国大会にてポスター発表をしました。

今年度は県内の Aoyagi Coffee Factory と連携し、FT コーヒーを用いた本校独自の商品を製作中です。

3. **SGH アソシエイト校としての取り組み**・・・今年度より、文部科学省スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト校の指定を受け『SOCIAL ACTION!』で持続可能な開発を担う人材育成プロジェクトをテーマとして活動を行っています。私は副主任として本活動に携わり、既存の貧困学習を発展させた「経済活動と貧困」の他に、「多文化共生と減災」「人間生活と循環」の2分野を新設し、全校生徒で探究型学習を実施しています。

・名古屋国際中学校・高等学校 <http://www.nihs.ed.jp>

・JICA グローバル教育コンクール 2014 [http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/global\\_edu/2014/ku57pq0000dy4p7-att/02\\_07.pdf](http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/global_edu/2014/ku57pq0000dy4p7-att/02_07.pdf)

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

ESD活動を全校の取り組みとし、「経済活動と貧困」「多文化共生と減災」「社会生活と循環」の3つのテーマを設定しました。そして、これら全てに関わる取組が「SOCIAL ACTION!」です。「!」は、若者の柔軟な発想と、失敗を恐れぬ気持ちで行う社会的活動を意味しており、中高生が発案となる社会的活動の実施が今後の活動の中心となります。

3つのテーマは、外国籍の生徒や教員が多い本校の特徴と、①南海トラフ巨大地震で甚大な被害が予測される②外国人居住者が多い、という愛知県の特性から設定したものであり、これらのテーマに基づき、地域企業、地方公共団体、NGOとの外部連携を密にしながら、生徒が行うSOCIAL ACTION!を数多く実践すると同時に、有益な取組をオンラインや学校連携で国内外に発信していきたいと考えています。